

令和3年度地方創生臨時交付金事業 事業効果検証資料

事業名	AR観光コンテンツ創出事業
事業期間	令和3年7月19日～令和4年3月31日
事業費	22,999,900円
事業対象	市内来訪者等
実施方法	直営・委託・補助金交付・助成金交付
事業目的	にかほ市の成り立ちや往時の景色・風景をデジタル技術で復活させ、現在の風景等をスマートフォン、タブレットを使用し、比較して楽しんでもらう。また、ジオガイドの案内にも活用し、「鳥海山・飛鳥ジオパーク」の知名度向上と、来訪意欲の促進にも一役を担ってもらうものである。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・AR視点ポイント：5カ所 ・風景等だけではなく、ご当地ヒーローキャラや、往時の人々キャラなども出演。 ・バーチャルプラットフォームを作成し、本市への来訪意欲の促進。 ・鳥海山山体崩壊などの動きがあるものについては、学術的知見から監修してもらい、よりリアルに再現する。
スケジュール	<p>令和3年</p> <p>7月19日 業務執行</p> <p>8月2日 契約締結</p> <p>9月～2月 現地確認、映像監修 随時</p> <p>令和4年</p> <p>3月31日 完了 → 完成検査</p>
効果検証	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥海山の山体崩壊は、学術的見地から監修したことにより、圧巻である。 ・かつては「瀉」であった、天然記念物「九十九島」は、原風景との比較がなされ、今昔の比較が容易にできた。 ・道の駅「象瀉」から日本海を望むと、当時の運搬船「北前船」が映し出される。往時の海の運送業を如実に再現され、また船にはご当地ヒーロー「超神ネイガー」や、乗組員も配置され、遊び心も加味し、スマートフォン等を操作する来訪者への配慮も忘れていない作りとした。 ・今後のことではあるが、学校教材にも活用できるような作りとしており、次年度以降にシステム内容に手を加え、実践していきたい。